

# アジア・オセアニア 豆 知 識



※当資料は「アジアリサーチセンター」のレポートを基に作成しています。

## アジアを代表する豊かな国、シンガポール

シンガポールの一人当たりGDPは2010年以降日本を上回り続け、アジアを代表する豊かな国となりました。経済開発庁による中央集権的な国家戦略の策定・遂行に加え、資源を持たないがゆえに人的資源の開発に力を注いできたことが経済発展の主因と言えます。具体的には英語やICT (Information & Communication Technology) を用いた教育の推進が挙げられます。

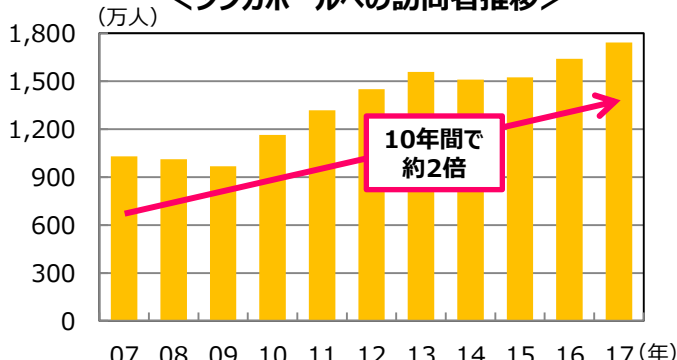
### 組織的かつ効率的な政策・競争力のある人材を背景に経済成長

シンガポールは人口約560万人、面積は東京23区と同程度でありながら、一人当たりGDPは57,713米ドル（約650万円\*1、2）とアジアを代表する豊かな国となっています。世界における人・物・金のハブとなることを目指し、シンガポール経済が発展する上で主導的な役割を果たしたのが「経済開発庁」です。成長産業や貿易などに関し組織的かつ効率的な政策および方針を立案し、着実に遂行しています。特に、観光産業については経済開発庁の主導で発展を成し遂げ、「海外からの訪問者」は10年間で約2倍伸び、1700万人以上（人口の約3倍）となっています\*1。

また、シンガポールの経済発展を語る上で不可欠なのが、同国の教育システムです。シンガポールでは二言語教育政策が施行され、小学校から英語で授業が行われます。その上、アジアの他国同様、受験競争が大変厳しく、小学校卒業試験（PSLE）で将来が決まるとも言われます。教育予算の規模は国家予算の約2割を占め、1997年からは国際競争力強化を目的にICT教育マスタープランも開始しています。その結果、シンガポールの小・中学生は非常に高い学力水準を誇っています。さらに、国内で人材を育てるだけでなく、世界中から優秀な人材を集め、政府、研究機関、大学、企業が一体となって様々な分野での付加価値を高め、シンガポールの経済発展につなげています。

\*1 2017年末現在 \*2 2017年末現在の為替レート（1米ドル=112.58円）で換算

＜シンガポールへの訪問者推移＞



(出所) シンガポール統計局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

＜国際数学・理科教育動向調査における成績 (2015) ＞

国際教育到達度評価学会 (IEA) が、児童生徒の算数・数学、理科の到達度を国際的な尺度によって測定。

	小学校算数	小学校理科	中学校数学	中学校理科
1位	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール
2位	香港	韓国	韓国	日本
3位	韓国	日本	台湾	台湾
4位	台湾	ロシア	香港	韓国
5位	日本	香港	日本	スロベニア

(出所) 文部科学省TIMSSのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。